

理論訓示 第13回

自立と自律①

今日から3回連続で『自立』と『自律』について説明します。

自立と自律ができている人は、思考力においても学力においても圧倒的に有利です。

さらには、自立と自律ができていない人は、高いレベルの思考力や学力を身につけるのは、とても難しいのです。

簡単な内容の時は、自立と自律はあまり関係ありません。

しかし、難しくなった時に、思考力も学力も大きな差が生まれます。

さて今回は、自立と自律の最初の自立について説明します。

自立とは・・・他の人の力を借りないで自分だけの力で行う事です。

では自立できている人とはどんな人でしょうか？

人間は自分1人だけで生きていく事はできません。

自立できている人というのは、何もかもすべてを自分1人でやる人ではありません。

自分でやるべき事を自分1人でやる事ができる人です。

では、これを勉強におきかえて考えましょう。

勉強において自立している人とは・・・

1 番目・・・何をやるべきかを自分1人で決められる人。

2 番目・・・分からないときは、もっと考えればいいのか？

別の本などで調べればいいのか？先生に質問すればいいのか？というような事を自分で考えて正しいものを選択できる人。

言いかえるなら、困った時に自分で対策を考えられる人です。

3 番目・・・2 番目と基本的には同じ事なのですが、思考力をもっと高めるにはどうしたらいいか？

成績を上げるにはどうしたらいいか？

こんな時に、まずは自分で作戦を考えられる人です。

もちろん誰かに参考意見を聞く事が必要な場合もありますが、まずは自分1人で考える事です。その上で、必要だと思ったら参考意見を聞きます。

それでは今回はここまでです。

次回はもう1つの自律について説明します。さようなら。